

先行き見通し DI についての考察（2）

先行き見通しは「3カ月後」も6割弱で『悪い』と見込む ～ 新型コロナの感染拡大で先行き見通しのばらつきは拡大 ～

データソリューション企画部

杉原 翔太

2020年11月の「TDB景気動向調査」の景気DIは、35.4（前月比1.6ポイント増）となり、6カ月連続のプラスとなった。Go Toキャンペーンなどの各種施策の効果もあり、人の移動が活発化したことで、観光関連の業種を中心に持ち直しの動きとなっている。しかし、新型コロナウイルスの感染者数が再び拡大傾向にあるなか、今後の先行き見通しは、2020年にばらつきが大きくなってきている。

1. 先行き見通しは「3カ月後」も58.9%の企業が『悪い』と見込む

TDB景気動向調査では、現在および先行きの景況感について、7段階（「非常に良い」「良い」「やや良い」「どちらとも言えない」「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」）の各選択肢に点数（6点～0点）をつけて、DIを算出している¹。本レポートでは、まず始めに2020年11月調査の個票データから先行き見通しの構成比と基本統計量を確認する（表1）。

2020年11月調査の先行き見通しの構成比をみると、3カ月後を『悪い』（「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の合計）とみている企業は58.9%と、依然として過半数の企業で悪いとみている（表1左）。しかし、期間別にみていくと、先行きへの見通しは『『良い』計』が1割程度であり変化がない一方、『『悪い』計』は「3カ月後」、「6カ月後」、「1年後」と徐々に減少、「変わらない」が徐々に増加していく傾向となっている。分布の左右対称性を表す指標である歪度も、「3カ月後」は正となっており、分布が『『悪い』』の方向に偏っていることを示している（表1右）。また、分布が正規分布からどの程度尖っているかを表す統計量である尖度も、「3カ月後」と「6カ月後」が負となっており、扁平な分布となっている。

2. 先行き見通しの分散は、2020年4月以来7カ月ぶりにすべての指標で拡大

表1右をさらにみると、「3カ月後」の分散（標準偏差）が「6カ月後」、「1年後」と比べて大きいことが分かる。そこで、企業間の先行き見通しのばらつきの度合いを時系列で確認するために、2018年以降の月ごとに個票データから先行き見通しの分散を算出した（図1および表2）。先行き見通しの分散は1月から4月にかけて拡大しており、緊急事態宣言が発出された4月に最も大きくなった。特に4月は「1年後」の分散が大きく、より長い先行きにばらつきがみられていた。

5月以降、「6カ月後」「1年後」といった期間では、その分散に縮小傾向がみられていたが、直

¹ 各種DIの算出方法については、帝国データバンク「TDB景気動向調査」の最後のページにその計算式を記載している。

近の11月調査では「3カ月後」「6カ月後」「1年後」の分散がいずれも再び大きくなった。「3カ月後」の分散が「6カ月後」「1年後」と比べて大きくなっているのは、各企業で異なる景気動向が、より近い将来の見通しにおいて反映されているためだと考えられる。しかし11月は、10月まで縮小傾向にあった「6カ月後」「1年後」という、より長い期間の指標でも再び拡大に転じている。2020年の1月から4月と同様に、先行きへの不透明感が高まってきている恐れがある。

まとめ

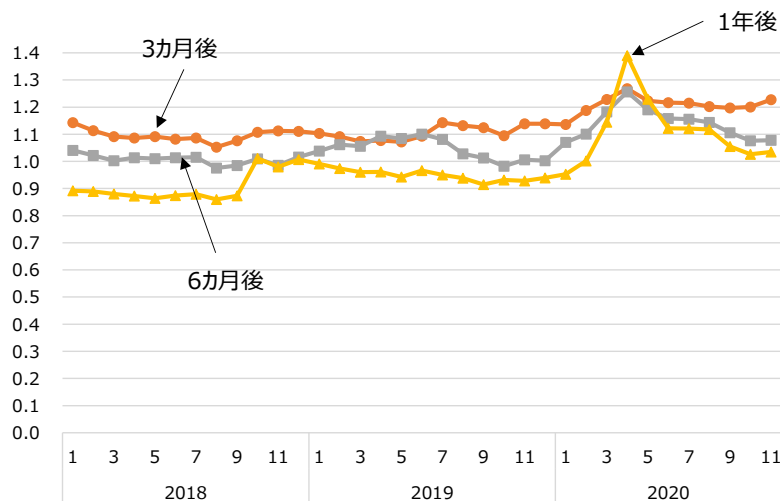
新型コロナウイルスの感染者数に再び増加傾向がみられるなか、11月調査の先行き見通しは「3カ月後」、「6カ月後」、「1年後」とすべての指標でばらつきが大きくなっていた。国内外において、足元の新型コロナウイルス感染者数の増加で、企業の先行きへ懸念が再び強まっている可能性がある。先行きへの不透明感が強まれば、企業の生産活動・設備投資計画にも影響する。企業の先行き見通しは、今後も注視する必要があるだろう。

表1 先行き見通しの構成比と基本統計量（2020年11月）

<先行き見通しの構成比> (%)				<基本統計量>			
	3カ月後	6カ月後	1年後		3カ月後	6カ月後	1年後
『良い』計	10.9	9.1	9.9	平均	2.210	2.306	2.522
非常に良い	0.1	0.2	0.2	中央値	2	2	3
良い	1.7	1.3	1.9	最頻値	2	3	3
やや良い	9.0	7.7	7.8	標準偏差	1.108	1.038	1.017
『悪い』計	58.9	52.7	39.0	分散	1.228	1.078	1.035
非常に悪い	5.0	3.5	3.2	尖度	-0.288	-0.181	0.338
悪い	23.0	20.2	14.7	歪度	0.124	-0.060	-0.346
やや悪い	30.9	29.0	21.0				
変わらない	30.3	38.2	51.1				

注：基本統計量は各選択肢の点数（6点～0点）から算出している
出所：帝国データバンク「TDB景気動向調査（2020年11月）」

図1 先行き見通しの分散の推移



注1：分散は各月の個票データにおける各選択肢の点数（6点～0点）からそれぞれ算出している
 注2：期間は2018年1月から2020年11月まで
 出所：帝国データバンク「TDB 景気動向調査」

表2 先行き見通しの分散の推移（2020年）

	3か月後	6か月後	1年後
2020年1月	1.136	1.071	0.953
2月	1.187	1.101	1.002
3月	1.229	1.183	1.145
4月	1.268	1.257	1.390
5月	1.223	1.190	1.229
6月	1.217	1.158	1.122
7月	1.215	1.156	1.121
8月	1.203	1.144	1.117
9月	1.197	1.106	1.055
10月	1.200	1.076	1.026
11月	1.228	1.078	1.035

注：分散は各月の個票データにおける各選択肢の点数（6点～0点）からそれぞれ算出している
 出所：帝国データバンク「TDB 景気動向調査」

【 問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク データソリューション企画部 産業データ分析課

杉原 翔太

03-5775-3163 keiki@mail.tdb.co.jp

帝国データバンクで毎月実施している TDB 景気動向調査にご協力いただける企業さまは、
 こちらから登録できます（スマートフォン等をお使いの方はQRコードからも可能です）。
<https://www.tdb-di.com/ent/rent.html>



当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。